

# 公益社団法人劇場演出空間技術協会

## 平成25年度事業報告書及び付属明細書

平成25年度の事業計画に基づき、実施した事業は次の通りである。

### 1.会議

1)総会平成25年5月30日(木)通常総会平成25年5月30日(木)16時00分～7時30分  
東京芸術劇場シンフォニーホールに於いて開催。

#### 審議事項

- 第1号議案 平成 24 年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成 24 年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 平成 25 年度事業計画承認の件
- 第4号議案 平成 25 年度収支予算承認の件

すべての案件を原案通り満場一致で承認決議された。

### 2)理事会

平成25 年度においては次の通り、定例理事会を 4 回、臨時理事会を1回計5回開催した。

第15回定例理事会(平成25年5月20日(月)15時00分～16時10分於東京芸術劇場小会議室7)

#### 審議事項

- (1)平成 25 年度通常総会議案書について  
審議の結果、原案通り満場一致で承認決議した。
- (2)専務理事選任の件について  
審議、投票の結果、賛成 17 票、反対 3 票にて佐藤壽晃氏が選任された。

第16回定例理事会(平成25年8月29日(木)15時00分～17時00分於東京芸術劇場小会議室7)

#### 審議事項

- (1)シコ・ジャパン・インク 賛助会員申し込みの件について  
審議の結果、賛助会員 A の入会を満場一致で承認された。

第17回臨時理事会(平成25年11月06日(木)8時30分～9時06分

於公益社団法人劇場演出空間技術協会会議室)

#### 審議事項

- (1)平成 25 年度修正収支予算案承認の件  
5 月開催された平成 25 年度総会において承認された予算案について内閣府より指導があり、  
予算の修正が提案された。審議の結果、満場一致で承認決議された。

第18回定例理事会(平成25年11月29日(金)15時00分～17時08分於東京芸術劇場小会議室 7)

#### 審議事項

(1)為ヶ谷秀一氏 正会員C入会申し込み承認の件

審議の結果、為ヶ谷秀一氏正会員 C の入会が、満場一致で承認した。

(2)組織見直しについて

高野瀬副会長より組織見直しについて、企画運営会議にて検討してきた組織見直し案 の説明があり、執行理事を明確にし、執行理事会の組織化、理事会と委員会の直結、部会の整理等の提案があった。審議の結果、組織見直しについては、今後より詳細な 組織改定案を企画運営会議にて検討し、2 月理事会で提案する事で、満場一致で承認 された。

(3)大谷図書館への JATET 誌等の寄贈について

審議の結果、大谷図書館への JATET 誌等の寄贈は、満場一致で承認された。

第19回定例理事会(平成26年02月28日(金)15時00分～18時37分於東京芸術劇場小会議室7)

#### 審議事項

(1)平成26年度通常総会開催日時及び開催場所の決定

審議の結果、平成 26 年通常総会の日時及び場所を平成26年5月30日(金)15 時からホテルローズガーデン新宿で開催することを、満場一致で承認決議した。

(2)役員選出方法について

審議の結果、役員選出方法については原案に修正を加える事で、賛成多数により承認決議した。

(3)選挙管理委員会委員選出

企画運営会議より選挙管理委員会委員に正会員A 株式会社松村電機製作所 小口 純一氏

正会員B 安井建築設計事務所 木村佐近氏

正会員C 有限会社桂川研究室 桂川 潤次郎氏の推薦があった。

上記三方には、代表者及び御本人が理事選には立候補しない旨確認済みである事、前回の選挙管理委員である事が説明され、満場一致で承認した。(後日桂川委員より 辞退の申し入れがあり、役員選任規定に従い企画運営会議にて鈴木伸一氏を選挙管 理委員会委員に選任した。)

(4)組織見直しについて

高野瀬副会長より説明があった。

前回提案した組織変更案の修正案の説明があった。要点は以下である。

ア．理事の担当を定めるとともに、理事の代表からなる 執行理事会を設置すること。

イ．公益事業の推進主体として運営委員会を設置すること。各部会長は自動的に運営委員会のメンバーとなり執行理事会の承認のもと事業を推進する。

・編集部会、インターネット部会を解消し、執行理事会、運営委員会、事務局で外部専門家も活用しながら推進する。あわせて部会委員が存在しない美術部会も解消すること。

・JATET FORUM 等の主要事業は運営委員会を中心にプロジェクトを組織して推進する。

・国際交流部会を解消。国際交流事案は必要に応じ運営委員会、執行理事会で協議し対応する。

・執行理事会は、会長、副会長、専務理事、担当理事(財務、事業企画、広報・渉外等)で構成し、運営委員会は、副会長、専務理事・業務担当理事・各部会長で構成する。部会は、正会員(法人役員・社員/個人会)、賛助会員(法人役員・社員/個人会員)、正会員(法人/個人)より推薦された個人で構成>(\* 非会員も可。但し、運営委員会、執行理事会 の承認必要)部会長は、正会員から選出し、副部会長は正会員もしくは賛助会員から選出する。

以上の説明がされ、このような組織に変更する事を企画運営会議にて承認を得て、この組織変更で従来 JATET が抱えていた会員の末端活動と理事会とが直接繋がりを持たなかった組織が、意思決定と末端の活動が直接に連携し、柔軟かつスピーディーに 公益活動が行えるようになるとの案が示された。

審議の結果、満場一致で承認決議された。

(5)平成26年度事業計画案 審議の結果、満場一致で承認決議された。

(6)平成26年度予算案

佐藤専務理事より以下の説明があった。今回の予算案の特徴は各部会の事業計画に基づき事業予算を組んだ事、ほぼ要求された予算は組み込であること、等の説明があった。資料 8-2 以後がそれぞれの部会の要求予算の明細で、要点の説明がされた。

予算は直接の活動費にあてて行き、来年度からは、OISTAT の会費を 1 口 5 万円に縮小した予算案を作成したが、OISTAT の活動は国連にも求められる国際的劇場機構であり、JATET に取って国際交流に欠かせない存在なので、予算を削減せず、従来通りの 予算の確保を願いたい旨の説明があった。国際交流費の予算は削減したが、予算内で OISTAT の会費は支払い可能なので、本日提案の予算案で審議する旨の説明があった。

審議の結果、OISTA の会費は維持する事で、満場一致で承認決議された。

(7)特別賛助会員 スペース・ゼロ入会について

審議の結果、原案通り満場一致で承認された。

(8)職員就業規則の改正案

佐藤専務理事より以下の説明があった。新事務局員採用に際し、職員就業規則を確認したところ、表現が古い箇所、修正が必要な箇所があり、修正案を企画運営会議にて承認された。本日理事会承認をへて労働基準局に 3 月中に申請をしたい。労働基準局への届出は内閣府の指導に基づくものであることの説明がされた。

審議の結果、満場一致で承認された。

### 3)企画運営会議

理事会の承認を受け、業務の執行を円滑にするため、平成 25 年度に於いては毎月1回計12回の定例企画運営会議を、協会会議室に於いて開催し、協会運営上の重要事項を審議した。

各定例会議における主たる審議事項は次の通りである。

第37回定例企画運営会議（平成25年4月16日(火)17:00 ～ 18:30於協会会議室）

審議事項

- (1)Inter BEE 2013 協力名義使用要請
- (2) ニッセイバックステージ賞候補者推薦
- (3) 公文協研究大会協賛事業要請

第 38 回企画運営会議(平成25年5月10日(金)16:00 ～ 17:00 於協会会議室)

審議事項

- (1)第15回理事会及び平成25年度通常総会議事次第 の件
- (2) 平成 24 年度 事業報告案承認の件(議案書1号議案)
- (3) 平成 24 年度 収支決算報告案の件(4) 専務理事候補選任の件

第39回企画運営会議（平成25年6月14日(金)16:00～17:30於協会会議室)

審議事項

(1)JATET 誌編集の方向と方法について

(2) OISTATへの対応について

第40回企画運営会議（平成25年7月17日(金)16:00～19:00於協会会議室）

審議事項

(1) 総会議事録を賛助会員に送るか

(2) 公益法人協会に WG を派遣するか

(3) 三菱重工メカトロシステムズ株式会社 正会員から賛助に変更の件

(4) カヤバシステムマシナリー株式会社役員変更の件

(5) 新国立劇場技術セミナー協力の件

(6) 事務所整理印刷物廃棄の件

(7) クレジットカード作成について

(8) 新会員獲得について

(9)JATET 誌発行の進捗状況

(10) 文化庁新進芸術家海外研修制度平成26年度募集案内について

第41回企画運営会議(平成 25 年 8 月 8 日(金)16:00 ～ 18:00 於協会会議室)

審議事項

(1)JATET 誌発行の事業について

(2) 理事会で配付する資料について

(3) 第16回定例理事会議案について

(4) 第16回定例理事会報告案について

第 42 回企画運営会議(平成 25 年 9 月 9 日(金)16:00 ～ 18:00 於協会会議室)

審議事項

(1)LED NEXT JAPAN 協賛について

(2) 会館ホール住所録作成の件

(3) 理事会議事録正会員宛に配布の件

第 43 回企画運営会議(平成25年10月9日(金)16:30 ～ 20:15 於協会会議室)

審議事項

(1) 修正予算案と財政委員会の招集について

(2) JATET FORUM の内容について

(3) JATET FORUM の予算について

(4) Journal 発行及び予算について

(5) 定款、諸規定の改正、選挙方法の確立について

(6) 為ヶ谷秀一氏 正会員 C 入会申し込みについて

(7) 紙データのサーチャブル PDF 化について

(8) 日生劇場 第 20 回 舞台 JATET FORUM2013 後援名義の件

(9) 11 月初旬臨時理事会の開催について

(10) 新電気設備指針の発刊時期について

第44回定例企画運営会議（平成25年11月12日(火)17:00～19:05於協会会議室）

審議事項

(1) 第18回定例理事会議案について

(2) 組織見直しについて

第45回定例企画運営会議（平成25年12月19日(木)17:00～19:00於協会会議室）

審議事項

- (1) 組織見直しについて
- (2) 理事選出方法についての提案
- (3) 国会図書館への発行図書への寄付について

第46回定例企画運営会議（平成26年1月24日(木)16:00～18:15於協会会議室）

審議事項 例企画運営会議（平成26年2月17日(月)17:00～19:30 於協会会議室）

審議事項

- (1) 組織見直しについて
- (2) 平成 26 年度事業計画案について
- (3) 平成 26 年度予算案について
- (4) 理事選出方法についての提案
- (5) スペース・ゼロ特別賛助会員入会について

- (6) 新 - 職員就業規則について

第48回定例企画運営会議（平成26年3月14日(金)16:00～17:15於協会会議室）

審議事項

(1) 選挙管理委員会委員の交代について 桂川潤次郎氏の辞退にともない、新たな選挙管理委員の推薦が必要になった。鈴音舎 の鈴木伸一氏が推薦されこれを承認した。

(2) 東芝ライテック株式会社、東芝エルティールエンジニアリング株式会社 会員種変更について

## 2. 事業委員会及び部会活動

事業委員会及び所属部会の活動状況は次の通りである。

### 1) 事業委員会

平成 25 年度に於いては協会会議室に於いて1回開催し、平成 25 年度に於ける協会事業の内容について計画を立案した。

第 15 回事業委員会(平成 25 年 8 月 21 日(水)13:30 ～ 16:30 於協会会議室)

審議事項

- (1) JATET 誌について
- (2) 施設見学会について
- (3) JATET FORUM について
- (4) 編集部会委員の選任について
- (5) インターネット部会部会長について
- (6) 議事録について
- (7) その他の事業についてJATET JOURNALは、教育研修部会が中心となりVol5及びVol6の2号を電子版としてホームページ上にて発行した。JATET 誌は、技術委員会が中心になり73号、74号の2号を発行した。

### 〈所属部会事業活動〉

事業委員会に所属する各部会の主な事業活動は次の通りである。

### 2) 教育研修部会

活動概要平成 26 年度は部会を 2 回開催した。

活動内容劇場施設見学会を 2 回開催した。

(1)「穂の国とよはし芸術劇場PLAT」見学会実施

平成25年4月13日(土)13:30～17:00

・共催:

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

財団法人 日本建築学会文化施設小委員会

一般社団法人 日本建築家協会東海支部

公益社団法人 愛知建築士会豊橋支部

公益社団法人 愛知建築士事務所協会東三河支部

・協力:

豊橋市、豊橋文化振興財団、豊橋芸術文化事業サポート株式会社

・第一部「事業企画及び設計主旨の説明」

・第二部「施設見学と現地説明」

豊橋の芸術文化の拠点として創造型、参加型の劇場を企図、半月後4月30日の開館 を前に開催。

当協会より約60名が参加。

(2)「たましん RISURU ホール(立川市市民会館)見学会実施

・平成25年12月20日(金)15:00～17:00に実施・施設改修後の見学・施設改修内容:大ホール客席天井、大ホール小ホール機構・照明・音響、他各所

62 名の参加があった。

3) 編集部会 開催されず

4) インターネット部会

平成25年8月6日(火)14時～17時、

平成25年 10月3日(木)14時～17時の 2 回作業部会を開催した。

5) 国際交流部会 開催されず。

3. 技術委員会及び所属部会活動

1) 技術委員会平成 25 年度は、協会会議室に於いて6回開催し、平成25年度に於ける協会事業の柱である JATET FORUM、JATET 規格の内容について協議した。JATET 誌は、技術委員会を中心に73号、74号の2号を発行した。

第16回 技術委員会(平成25年7月31日(金)15時00分～17時00分 於協会会議室)

審議事項

(1) 議事録作成に関して

(2) JATET FORUM 2012-13 の反省

(3) 今後の活動計画について

第 17 回 技術委員会 (平成25年9月13日(金)15時 00分～17時00 分

於協会会議室)

審議事項

(1) JATET FORUM 2013-14 開催にあたって (2) JATET 規格に関して

第 18 回 技術委員会 (平成25年10月22日、15時～17 時半 於協会会議室)

審議、検討事項

- (1) JATET FORUM 2013-14
  - (2) JATET誌74号の発行計画
  - (3) 規格のデータ化
  - (4) 電気設備学会、劇場等演出空間電気設備指針の改訂遅延の報告
  - (5) ITEAC 来年 6 月にロンドンで開催される国際会議について
  - (6) 部会名簿提出(7) 舞台技術基礎（見本版）
- 第19回技術委員会（平成25年12月6日、15時～17時於協会会議室）  
審議、検討事項

- (1) JATET FORUM 2013-14 開催にあたって
- (2) 申し込み方法の検討
- (3) 懇親会について
- (4) 予算に関して
- (5) 受付について
- (6) チラシについて

第 20 回 技術委員会（平成25年1月21日15:00～17:00 於協会会議室）

- (1) JATET FORUM 2013-14 開催にあたって
- (2) 次年度の技術委員会の事業計画に関して

第21回技術委員会（平成25年3月20日(木)15:00～16:40於協会会議室）

審議事項(1) 劇場等演出空間電気設備指針改訂版(2014 年 4 月発刊予定)解説講習会

#### <所属部会報告>

技術委員会に所属する各部会の主な事業活動は次の通りである。

##### 1)建築部会活動報告

活動概要平成 25 年度は部会を 8 回開催し、「東日本大震災の被害対応」のテーマでアンケート調査、ヒアリング調査・分析を行った。その結果を JATET FORUM 2013-14 等において発表した。建築部会の下に木造劇場研究会(座長山崎泰孝理事)を設け研究会を開催した。木造劇場 並びに芝居小屋の魅力を分析するために、テーマを決めて掘り下げを行った。活動内容

- (1)「東日本大震災による震災対応調査分析(アンケート)、(ヒアリング)」
- (2) JATET FORUM 2013-14 の資料集編集の資料集編集、執筆、発表・参加（2014年1月）
- (3) 日本建築学会大会（北海道）において報告（2013 年 8月）  
・本杉、勝又:東日本大震災における震災復旧、震災対策及び計画的修繕からみた劇場・ホールの課題—劇場・ホールにおける震災対応に関する調査(その1)  
・勝又、本杉:東日本大震災における被害状況と震災復旧工事について—劇場・ホール における震災対応に関する調査(その2)  
・勝又、本杉:東日本大震災における震災復旧・震災対策及び客席天井の修繕改修工事について— 劇場・ホールにおける震災対応に関する調査(その3)
- (4) 世界劇場会議国際フォーラム 2014 において報告（2014年2月）  
・勝又:劇場・ホールの再生について～都市の資産として長寿命化を図る
- (5) 日本建築学会関東支部研究報告会において報告（2014年2月）  
・勝又、本杉:東日本大震災における被害状況と震災時対応について—劇場・ホールにおける震災対応に関する調査(その4)  
・勝又、本杉:東日本大震災における修繕改修工事について—劇場・ホールにおける震災対応に関

する調査(その5)

(6) 部会員による海外視察報告会を実施

古橋:北京電影学院・北京戲劇学院、本杉:スウェーデンの宮廷劇場と木造劇場

(7) テレビ朝日西麻布別館見学会を実施

(8) 国土交通省の天井指針について検討会を実施

(9) 建築部会実施予定のリニューアルセミナーについて検討

## 2) 機構部会活動報告

### 活動概要

平成25年度は、部会を月例で11回開催して、主として次の事項について調査研究等を実施した。

### 活動内容

(1) 機構関連指針の経年見直しを実施し、床機構安全指針については、出版用原稿作成まで完了し、その他の指針は引き続き検討を続けることとした（継続事業）。

床機構安全指針・同解説吊物機構安全指針・同解説

舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針

吊物バトン積載荷重表示指針

資料:舞台機構設備の運用操作の注意事項(2) JATET FORUM 2013-14 において、舞台機構部門の発表をしたほか、JATET FORUM の準備や進行に協力した。

## 3) 照明部会活動報告

### 活動概要

平成 25 年度は、基本方針を審議決定する部会を隔月で 6 回開催すると共に、小委員会及び調査研究会を必要に応じて随時開催し、懸案課題の具体的な解決を計るべく討議、研究 作業等を行った。

### 活動内容

(1)「劇場等演出空間運用基準協議会」に対する対応の討議

「IEC 及び JIS 関連の動向等」の報告、対応

JASCI の取り扱いおよび、現状把握、今後の課題の研究JATET FORUM 2013-14 に参加2014年 1 月 29 日開催された JATET FORUM 2013-14 にて、JATET 技術委員会照 明部会として『ホールにおける震災対応に関する調査報告と提言』で劇場技術に関する提言の発表を行った。

(2) 劇場等電気設備調査委員会

前年度に「劇場等演出空間電気設備指針」(以下「本指針」という)の改訂に向けた検 討会が、(一社)電気設備学会と協力して行われた。本年度も、照明部会委員、機構部 会委員、音響部会委員 14 名での検討見直しが継続された。本年度は、前年度に作 成された、編集原稿の最終見直しと、発行に向けた編集会議が開催され、JESC 委 員 会での審議のための資料整備が行われた。

平成25年度に行われた本事業の詳細

平成25年7月4日 電気設備学会専門部会での検討見直し内容の報告。

・平成25年7月25日 電気技術協会 (JESC) 技術委員会報告用資料の作成。

・平成25年8月6日 電気技術協会 (JESC) 改定内容および経過の報告。

本指針に対するパブリックコメント募集開始。

・平成25年10月8日 電気技術協会 (JESC) 第 1 回本委員会の審査。

・平成26年11月15日 パブリックコメント提案者との検討会を開催。

- ・平成26年1月15日 第2回 JESC 本委員会に向け資料を作成作業
- ・平成26年2月5日 第2回JESC本会議における審査。
- ・平成26年3月中 改訂版発行に向け最終原稿の編集作業。
- ・平成26年4月末 改訂版発行予定。

(3) 平成 25 年度「適正更新時期判定プログラム」のバージョンアップ事業

(4)JATET-L 規格改正調査委員会

JATET-L 規格については次の 11 規格が定時見直し対象となり、「JATET-L 規格改正調査委員会」を設置し、継続（確認）・改正・廃止の検討を行った。

(a)継続(確認)

JATET- L-7120-2 漏電感知機能付き調光器規格

JATET- L-2160 演出空間用照明器具のつり下げハンガー(手締め式)規格

JATET- L-2170 演出空間用照明器具の平置きスタンド規格

(b)改正 JATET- L-8110-2 演出空間用調光装置の安全基準

(5)LED 演出照明設備調査研究会

劇場演出空間における舞台照明設備が、従来の白熱灯光源を調光電源で制御する方式から、LED 光源を制御する新たな方式が増加していくことに伴い、照明設備の運用面や設計面の考え方が変化していくことが考えられる。照明部会の調査研究会として、このテーマについてユーザとメーカーが討議することで知識の共有を図り、これからの設備のあり方について調査研究をおこなった。

開催日時

第1回 平成25年6月26日

第2回 平成25年9月3日

第3回 平成25年 12月18日

第4回 平成26年2月12日

(6) 演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会演出空間用照明器具の光源も LED 化が進んでおり、現行の表示規格では、十分な情報を提示しているとは言い難い現状であるまた、ハロゲンなどの白熱電球とは色の再現性、フィルターを使用した場合の光色、伝送信号などが異なっており、より多くの情報が望まれている。このため、演出空間用 LED 照明器具が具備すべき情報をメーカー、ユーザ双方の意見をまとめ、LED 光源を使用した照明器具の表示規格ガイドラインの作成を目的とした研究会を開催した。

記載日時

第1回 平成25年8月28日

第2回 平成25年10月24日

第3回 平成25年12月11日

第4回 平成26年3月10日

4) 音響部会活動報告

活動概要

平成 25 年度は、部会をほぼ隔月で 6 回開催して、主として次の事項について調査研究等を実施した。

前年度に作成した劇場等演出空間電気設備指針の改訂版の修正や承認作業とそれに関連する規格 / 指針の改定作業に着手、新国立劇場舞台技術運用セミナー 2013 に講師として参加、

JATET FORUM2013-14 の開催、JATET 誌の編集担当など、盛り沢山の内容をこなした。劇場・ホールの音響性能測定法、音響電源に必要な条件、舞台連絡設備指針、音響関連建築計画資料(旧要望)などの音響規格 / 指針の改定作業に着手しているが、いずれも大きなテーマであることから優先順位をつけて内容の精査を慎重に進めている。携帯電話会社による電波使用帯域の急速な拡大に伴う使用電波再編に向けてのラジオマイク(ワイヤレスマイク)の周波数移行作業については、メーカー・施工者、劇場・ホール、運用者などの間で協議しつつ進められ始めている。いずれも業務に支障のない移行過程を望み模索している。今後も、最新情報の収集に努めてゆく方針である。音響に関連する各協会、業界団体との間では、充実した情報交換・相互交流活動を行なっている。

#### 活動内容

平成25年4月19日部会1:JATET FORUM2012-13 の報告  
電気設備指針の電源条件等の検討、LED 照明検証会の報告  
平成25年6月21日部会  
2:電気設備指針の校正版の説明と進捗状況、技術委員会報告  
平成25年7月30日:新国立劇場舞台技術運用セミナー 2013 に参加、第 2 部の解説担当  
日本舞台音響家協会 Stage Sound Journal 2013.11 号に報告原稿あり  
平成25年9月18日部会3:JATET FORUM2013-14 の提言内容を討議、標準化 WG  
平成25年11月8日部会  
4:委員会等報告、規格改定方法を討議、標準化 WG  
平成25年11月29日WG:旧 JITT 測定法改訂内容と進め方を討議、標準化 WGJATET 誌 73 号の編集を担当(フェスティバルホール他)  
平成26年1月17日部会5:JATET FORUM2013-14 の開催準備、H26 年度事業計画  
JATET 誌 74 号の編集を担当(JATET FORUM 資料)  
平成26年1月29日:座・高円寺にて JATET FORUM2013-14、舞台音響設備の報告  
平成26年3月7日部会6:指針出版経過報告、H26 年度活動詳細を検討、標準化 WG

#### 5)映像部会活動報告

##### 活動概要

平成 25 年度は、部会をほぼ月例で 10 回開催して、主として次の事項について調査研究等を実施した。技術革新の影響が著しい情勢に対応して、広範囲の情報を、迅速に収集、検討するため、14 年度より開始した分科会のメンバーの参加を含めた部会を、本年度も引き続き毎月開催し、大型映像システム(自発光方式および投映方式)利用手法とその関連技術について調査、研究を行なった。

##### 活動内容

(1)基準協発行の教本「舞台技術基礎(見本版)」に対して、映像部会の意見をまとめて提出した。  
(2)2001 年制定規格「JATET-V-1010 自発光方式大型映像装置用語解説集」の改訂作業は、「分類」に続き、「解像度一覧」の取りまとめを終了した。  
(3)調査、見学:2K,4K,8K の高精細度大型映像、3D そして超短焦点プロジェクションなどの進展を中心に下記の各種の展示会を調査・見学した。右記は特記内容を示す。  
NHK技研内覧会(5/29): S-HD, IT化TV,ガラスレス3D  
アストロ・デザイン展(6/28): 4K カメラ、レコーダー、コンバータ  
バーチャル技術展(6/20、ビッグサイト): 高精細度・ガラスレス 3D

英国ロイヤルバレー(7/6、東京文化会館): プロジェクターによる電子背景 ナック展(7/23): 新高速 HD カメラ他  
バーコ展(7/25): 4万ルーメン・高輝度プロジェクター  
CEATEC (10/7幕張): 大型EL、3Dオーディオ、シアター展(10/21 青海): スマホ用オーディオ  
Inter Bee(11/15 幕張): 4K システム、デジタル・オーディオ  
東京モーターショー(11/22 ビッグサイト): 高精細度、大型、シースルーの利用  
国際画像機器展(12/6 パシフィコ): 3Dプロジェクション・マッピング  
光和機器展(1/24): レーザー光源・DLP プロジェクター  
NHK 制作技術展(1/27): テレビ画面の多様化手法

#### 4. JATET FORUM 2013-14

平成 26 年 1 月 29 日(水)、添付の資料 1 を基に JATET FORUM 2013-14 が開催され、参加者は、非会員を含め 162 人+学生 7 人=のべ 169 人が参加し、資料が 1 部、当日配布資料とは別に販売があった。FOEUM後の懇親会も68人+学生5人+講師5人約80人の方の参加で賑わった。

・JATET FORUM 2013-14 の内容タイトル 3.11 以降の劇場・ホールを震災対応調査から考える  
サブタイトル 劇場・ホールにおける防災・安全・技術(その3)

本協会では文化施設を対象に施設の被災状況、その後の修繕・改修や危機管理の改善等について、全国的なアンケート調査とヒアリング調査を継続的に行い、震災から 3 年近くを経て様々な立場からの提案、活動等をパネリストの報告を基に、今後の文化活動・施設 計画の課題を共有すべく JATET FORUM 2013-14 を開催した。

日時:平成25年1月29日(水)会場:座・高円寺 2

共催:公益社団法人全国公立文化施設協会 後援:文化芸術による復興推進コンソーシアム

5. 発刊物1)JATET 誌技術委員会が中心となり、73 号、74 号の 2 号を発行した。73 号は発行部数 2000 部、そのうち全国公共ホール 1370 館、官庁・関係団体約 100 団体、会員 149、広告主 23 団体へ発送。残部は 50 部程度である。74 号は総数発行部数 2300 部。2013-14 の当日配布資料として使用し、当日配布数 180 部、全国公共ホール 1370 館、官庁・関係団体約 100 団体、会員 149、広告主 23 団体へ発送。残部は 200 部程度である。全国公共ホール 1370 館、官庁・関係団体約 100 団体へは寄贈である。また、国会図書館、松竹大谷図書館、宮城県立図書館等から寄贈を申し込まれ、寄贈した。これらを販売価格で計算すると、本年度で約 400 万円以上金額とになる。JATET 誌発行事業は、収益事業として認定されているが、JATET 誌の全国公共ホール、関連団体、図書館への寄贈は JATET が社会に対して誇れる事業だと考える。

#### 2)JATET JORNAL

JATET JORNAL は、Vol.5 及び Vol.6 の 2 号を電子版としてホームページ上にて発行された。

#### 3) 劇場等演出空間電気設備指針 2014 JESC E0002/IEIEJ-G-0001 の改訂と発行

1999 年 3 月に当協会と(社)電気設備学会の共著で発行した劇場等演出空間電気設備指針が、平成 23年に「電気設備の技術基準の解釈」が改定されたことに伴い改定を行うこととなった。当協会の会員が委員となり作業を進めていたが、このほど完成し発行となった。劇場等演出空間電気設備指針 2014

JESC E0002/IEIEJ-G-0001 定 価:6400 円 (税別)

6. その他1) 平成 25 年 11 月 20 日 内閣府の立入検査が実施された。

以上

付属明細書は無し